



学校教育目標:ふるさとを愛し人間性豊かでたくましい児童の育成
 学校経営方針:一人ひとりが輝く 子どもが主役の学校

各学年で地域との交流～三玉校区は人材、学習教材の宝庫～

5月、6月はどの学年も年間の計画にそって地域との交流(校外学習)を進めてきました。初めて赴任した私も地域や地域の方々を知るために時間が許す限り一緒について行くようにしました。5月18日(月)に1年生と一緒に学校の周りの探検に行きました。「通学路」や「危険」や「子ども110番の家」などの子ども達を守る看板等がたくさんあることを実際に歩いて確かめました。また、道路の出口に白線と白い足形が至るところにあり、これは三玉小のPTAが事故防止のためにやっている活動だと知りました。2年生、6年生とは5月11日(月)に松尾果樹園のぶどう畑に行きました。松尾さんは子ども達のたくさんの質問に分かりやすく、丁寧に笑顔で答えていただきました。三玉の気候がぶどう栽培に適していることや栽培には手間暇がすごくかかること、ぶどうや三玉地区への愛情を感じました。その後、涌尾の野田設備工業様にも訪問しました。3年生は翌日の5月12日(火)に社方さんのみかん畑に行きました。みかんの花をスケッチしたり、たくさん質問しました。6月にもまたみかん畑に行き、摘花作業を体験する予定です。4年生は5月25日(月)に三玉保育園を訪問し、年長児のみなさんとじゃんけん列車やおにごっこ遊び、保育見学や質問タイムで交流しました。私も園児達とじゃんけん列車をやって楽しかったです。6年生は5月27日(水)に菊池川自然塾の北原先生をお招きして、一つ目水源の生き物たちについての学習をしました。6月下旬には、実際に一つ目水源に行って観察学習をする予定です。5年生は地域の測上さん方の協力で、米作りにチャレンジします。三玉の米作りは5月29日(金)の「種籾まき」から始まります。本当に三玉校区は学習教材や人材の宝庫で、子ども達はふるさとの様々な自然や栽培活動に実際に触れ、地域の方々の知恵や思いに触れることができている。改めて三玉校区のよさをひしひしと感じており、ここで働ける喜び、学べる喜びを感じています。



1年生(校区探検～学校周辺～)



2年生(ぶどう園・野田設備訪問)



3年生(みかん園訪問)



4年生(三玉保育園との交流)



5年生(種籾まき体験学習)



6年生(一つ目水源の生き物学習)



校長室より うれしい話

先日、5年生の男の子二人が下校時に「道に携帯電話が落ちていました」と学校に戻って届けてくれました。その日のうちに落とし主は見付き、手渡ししました。大変感謝され、拾ってくれた子ども達に是非お礼を伝えたいと言われました。次の日に校長室から落とし主の方に電話を入れると、一人一人に何度も何度もお礼を言われました。おかげで子ども達もいいことをしたなあ実感できました。気持ちを伝えてくださった地域の方に感謝です。

毎朝、三玉校区の4つのルート(蒲生・福原・霊仙方面、上吉田方面、涌尾・幸泉台方面、久原団地・今田・犬塚方面)を日替わりで歩き、子ども達と登校していますが、ここ最近、地域の方と話していると、「朝から子ども達から挨拶されると元気をもらいます。」「三玉の子ども達はあいさつがいいですね。」など、数名の方からうれしい言葉をいただきました。早速、職員会議で担任の先生方に、子ども達に伝え、自信にしてほしいと話しました。もっともっと挨拶を「三玉の宝」にしていきたいです。また、この挨拶の背景には三玉地域の方々の子供達への挨拶や温かい声かけがあると確信しています。ありがとうございます。